



# 蛭雪会報

茨城県立境高等学校同窓会会報

第 2 号

平成28年 8月 1日発行  
(年 1 回発行)

発行所

茨城県立境高等学校  
蛭雪会

茨城県猿島郡境町175  
TEL 0280 (87) 0123

## ご挨拶

「さらなるご協力を」

同窓会会長 酒井義博



蛭雪会会員の皆様には、日頃から本会並びに母校の発展のためにご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年8月2日(第1日曜日)、総勢157名という多数の参加者の下、平成27年度同窓会総会が開催されました。総会には、還暦を迎えた卒業生を招待していますが、さすがに皆様、多士済々年輪を重ねた方々で、このような方々を初めとして2万数百名を擁する蛭雪会の底力を感じ、力強く思った次第です。

昨年度は同窓会報の創刊号を発行し、旧制中の1回生から高校第25回生(還暦の年代)までを対象に計5200部を郵送しました。久しぶりの同窓会からの情報ということもあって、多くの方から好意的な反応が寄せられ、協賛金も780名の方から計250余万円のご協賛をいただきました。これを原資に第2号からは、全会員に配布しますので、さらなるご協力をお願いします。また、この会報発行を縁として、旧卒の同窓生の絵画作品5点の寄贈の申し出があり、過日学校に納入されました。これを機に、益々交流の場が広がることを期待します。

境高は、昔から文武両道を標榜してきました。そして、生徒たちもそれぞれに自己の向上を目指して勉学に運動にと励んでおります。

ところで、最近の世相を見ると、景気は良くなつてはいるもののなかなか一般まで及ばず、我が国においても貧富の格差が確実に増大しているといわれます。そのような中、能力は十分あっても、学費の諸負担に苦勞しているケースが多くなっている。毎年、奨学生選考の審査をしていてそんなことが垣間見えます。

現在、同窓会から学校への後援としては、奨学金(月額7000円)の授与、優れた活動をした部活動への援助、などを行っていますが、限られた会費からの支出で充分とは言えない状況です。これから、奨学金制度の充実など学校への後援の面に力を注げたらと思っています。同窓生の持つ力の余力を、学校・後輩たちに振り向け、少しでも学校の魅力の向上に役立てられればと思います。次号にて具体案を示しますので、その際はよろしくご協力のほどお願いします。

## 「ご挨拶」



学校長 岩田 隆

本年度4月に石下紫峰高校より赴任して参りました岩田です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平素より同窓会の皆様には本校教育活動に厚いご支援を賜り感謝申し上げます。さて、境高校は、御存知のように、昭和3年に茨城県立境中学校として創立され、以来88年にわたり2万名を超えるあまたの人材を送り出しており、卒業生は各方面で活躍されております。そして、本校は2年後の平成

30年には、創立90周年を迎えるところであり

本校の近況ですが、整った恵まれた環境のもと、生徒達は落ち着いた学校生活を送っております。授業はもとより、集会での話を聞く態度も素晴らしく、廊下などですれ違った時にはあいさつが自然にできます。また、朝、自主的に校舎周辺の清掃活動をしている生徒もおります。放課後は部活動に活発に取り組み生徒も多くおり、本校の良き伝統・校風を日々感じております。

現在、本校では、①キャリア教育の充実②英語教育の充実③基礎学力の充実④進路指導の充実⑤学力・適性等に応じた指導の充実の5つの大きな柱を基本にして日々の教育活動を行っています。

また、部活動面では、昨年度、陸上部、吹奏部が全国大会に出場、卓球部、陸上部、水泳部、吹奏部が関東大会に出場しました。今年度もすでに5月まで、弓道部、陸上部が関東大会に出場し、科学部が8月に県代表として全国大会発表となっております。

昨年度の卒業生の進路状況は、延べ数ですが、国公立大学10名、私立大学259名、短大・専門学校100名、就職37名(公務員11名)となっております。

今後、学校生活・教育活動を一層充実させて、皆様方に続く後輩達が、「境高校」で学ぶことに誇りを持ち、将来有為な人材、グローバルに活躍できる人材として成長していけるよう、そして更なる伝統を積み重ねていけるよう、微力ではありますが力を尽くして参りたいと考えております。今後とも同窓会の皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。挨拶といたします。



平成27年度 同窓会事業報告

平成27年

4月1日(水) 同窓会校内幹事打ち合わせ

4月3日(金) 平成27年度歓迎迎会

4月7日(火) 平成27年度入学式

6月11日(月) 関東大会壮行会

部活動奨励金 陸上部(3名)

6月28日(日) 同窓会総会発起人会 高校26・27回生

7月2日(木) 高校総体/関東大会壮行会

部活動奨励金

陸上部(1名) 水泳部(2名)

7月3日(金) 同窓会本部役員会

7月22日(水) 関東大会壮行会

部活動奨励金 陸上部(1名)

8月2日(日) 平成27年度同窓会総会

8月27日(木) 東関東大会壮行会・部活動奨励金

9月1日(火) 国体出場大会壮行会・部活動奨励金

10月23日(金) 同窓会本部役員会

同窓会奨学生選考会議

同窓会奨学生奨学金交付式(3名)

(月額7000円)

平成28年

2月29日(金) 平成27年度同窓会入会式

卒業記念品の贈呈

3月1日(火) 第68回卒業式

平成27年度 境高等学校同窓会運営費 決算書

収入 4,050,027円

支出 1,900,303円

残高 2,149,724円 (次年度へ繰越)

1.収入の部

項目	予算額	決算額	増減	摘要
会費	1,695,600	1,690,200	△ 5,400	5,400円×313名
繰越金	2,356,456	2,356,456	0	前年度より
繰入金	0	0	0	
雑収入	44	3,371	3,327	利息、卒業学年残金
合計	4,052,100	4,050,027	△ 2,073	

2.支出の部

項目	予算額	決算額	増減	摘要
会議費	200,000	38,498	△ 161,502	役員会議費等
総会費	350,000	360,247	10,247	総会運営費等
事務費	30,000	3,672	△ 26,328	ゴム印等消耗品
通信費	30,000	31,570	1,570	郵送料等
慶弔費	100,000	50,000	△ 50,000	見舞い等
餞別費	150,000	88,000	△ 62,000	転退出者への餞別
同窓会補助費	150,000	60,000	△ 90,000	同窓会補助
卒業記念品費	500,000	416,880	△ 83,120	卒業記念品代
生徒活動費	800,000	536,340	△ 263,660	大学合格垂れ幕、部活動での高校総体・関東大会祝・垂れ幕等
奨学金	252,000	252,000	0	奨学金用資金
予備費	1,490,100	63,096	△ 1,427,004	学習館スリッパ
合計	4,052,100	1,900,303	△ 2,151,797	

3.残金

2,149,724円は、次年度へ繰り越します。

### 同窓会・クラス会だより

#### 第7回卒同窓会

2年半前に、喜寿の祝いの同窓会を開き、今回は傘寿の同窓会となる。会を開くに当り高校に伺い野村先生、事務長、校長先生に会い、案内状を持参して援助していただいた。そこで何年ぶりかで校歌を歌う場面にはと、作曲家小松耕輔氏のメロディー2番迄のCDと、作詞家葛原しげる氏の歌詞とをいただく。校長先生からは境高と境西高が合併したので、今までの校訓「誠実・剛健」に西高の校訓「協力・力行」が加わったとの話を聞く。当日、開式次第の挨拶の後に校歌斉唱として、CDを使って合唱した。それが今回の特徴です。



同窓会を通して感じた事は、不参加者は勿論お互いの体に相当の異変が起きていることです。元氣だった人が足腰が弱くなったり、車の運転が無理になった人、長距離なので行くのが辛いという人、様々ですが、それが80歳なのです。

次回は、2年後に開くことになりました。野村先生の幹事として境高に残るとの言葉にも、みんな元氣を貰った一期一会という言葉があり、茶道から一生に一度だけ出会うとの意味のようですが、境高で出会うことが正にそれに相当すると思いです。

平成28年4月20日 於「すずきや」  
発起人代表

- 秋元功三郎 黒川 昭一
- 野口 正行 初見 貞夫
- 小野 瑛子 戸張つね子
- 注 参加者 喜寿時47名 傘寿時38名

#### 第13・14回卒同窓会

27年の同窓会は6月6日紫陽花の咲く頃、遠方からの出席も考慮しバス停近くの「すずきや」さんを会場に男子34名、女子22名の出席と、前回に同じく恩師猪瀬正巳、張替秀夫の両先生にお越し頂いて2年振りの再開になりました。

久し振りとは云え、2年前の宴の思い出が鮮やかに残っている中での開催は親しみもぐつと厚くなってほんとに和やかさいっぱいの雰囲気になりました。

共に生きた青春の3年間はまじかに戻って来たような若若しい空気が会場に溢れ、同窓会の愉しさを改めて胸の奥深く刻んだ、瑞々しく紫陽花の花咲く日の同窓会になりました。

世話人 荒川 成敬



#### 第14回卒同窓会

平成15年8月3日境高同窓会総会に還暦で招待された。参加者の総意で、これを機会に定例会の開催になる。翌年から10月に交通の便を考えて海のさむらいを中心会場に、連絡の取れる百数名のうち40名前後の参加者で毎年開催してきた。年と共に足腰が弱くなり、手狭なこともあり、テーブルの会場のかつ太郎に変更、開催日を20日に決める予定に入れて実施。

昨年は10月20日かつ太郎本店で開催。会員の特技の余興披露やカラオケを交える中、互いの近況報告や思い出等で

青春時代の3年間に立ち戻ったかのよいうな空気に溢れる楽しい一時を過ごした。来年までの健康を約束し満足した笑顔での再会を誓い合い、最後に同窓会幹事の野村先生にお借りしたCDで、全員が昔を思い出しながら大きな声で校歌を合唱して閉会となった。

代表幹事 鈴木 浩



#### 第9回卒同窓会

平成27年9月27日

幹事 広岡 久弥

#### 第15回卒同窓会

平成27年9月27日

幹事 齋藤 孝夫

#### 第35回卒クラス会

平成27年9月27日

幹事 稲葉 早苗